

陸上自衛隊 高等工科学校

所在地：

〒238-0317 神奈川県横須賀市御幸浜 2-1

お問い合わせ：

広報班 046-856-1291 (内線 214・219)

ホームページ：

https://www.mod.go.jp/gsdf/yt_sch/



交通アクセス：

JR 横須賀線利用の場合

- 「衣笠駅」から、衣笠十字路バス停(徒步約5分)より、
京急バス「長井ゆき」、「三崎口駅ゆき」又は
「三崎東岡ゆき」に乗車、高等工科学校前バス停下車
- 「逗子駅」より、京急バス「長井ゆき」に乗車、
高等工科学校前バス停下車

京浜急行線利用の場合

- 「三崎口駅」より、京急バス「横須賀駅ゆき」又は
「横須賀市民病院ゆき」に乗車、高等工科学校前バス停下車
- 「横須賀中央駅」より、京急バス「長井ゆき」、「三崎口駅ゆき」又は
「三崎東岡ゆき」に乗車、高等工科学校前バス停下車

自動車利用の場合

- 「横浜横須賀道路」衣笠 IC で接続する「三浦縦貫道路」を利用し、
「林出入口 IC」で降り左折、約 500m 先の 1 つ目の信号で右折
- 「横浜横須賀道路」衣笠 IC で降り、県道 26 号線(三崎街道)を
三崎方面へ。林交差点を左折、約 1.5km 先の 3 つ目の信号で右折

生徒募集について

高等工科学校生徒の募集(受験手続き等)について
のお問い合わせは、各都道府県の自衛隊地方協力
本部へお願いします。

● 自衛官募集ホームページ

<https://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/>



● 募集コールセンター

フリーダイヤル：0120-063792
ナビダイヤル 携帯電話(有料)：0570-045818
(受付時間：12:00-20:00)

「今」をかけて「未来」をまもる



陸上自衛隊 高等工科学校



Twitter



YouTube



Instagram



00 OVERVIEW

陸上自衛隊では、科学技術の発達に伴い装備が近代化し、それらを取り扱う人材を育成する必要から昭和30年に「生徒制度」を発足させ、昭和38年からは少年工科学校としてその教育が行われてきました。

その後、平成22年度からの自衛隊生徒制度の変更に伴い、将来陸上自衛官となるべき者を養成する学校として新たな制度のもと、少年工科学校の良き伝統を継承しつつ時代の変化(任務の多様化、高等学校教育の趨勢等)に対応した教育を行うことになりました。

本校は、『技術的な識能を有し、知徳体を兼ね備えた伸展性ある陸上自衛官としてふさわしい人材を育成する。』という理念のもと、陸上自衛官を育成する組織です。よって生徒は特別職国家公務員となり、自衛隊員の身分になります。

そのため、本校での3年間の教育は、高等学校普通科と同等の教育を行う「一般教育」、工業高校に準ずる専門的技術の教育を行う「専門教育」、陸上自衛官(陸曹候補者)として必要な防衛教養や各種訓練を行う「防衛基礎学」、生徒会活動やクラブ活動を行う「特別活動」を中心とした教育として実施します。

学校全景

- | | | | |
|----------|----------|-----------|-------------|
| 1. 正門 | 5. 一般教室舎 | 9. 売店 | 13. 体育館 |
| 2. 講堂 | 6. 生徒生活舎 | 10. 食堂 | 14. 野球場 |
| 3. 総合教室舎 | 7. 医務室 | 11. 浴場 | 15. 学校グラウンド |
| 4. 学校本部 | 8. 錬武館 | 12. 生徒生活舎 | 16. ラグビー場 |



技術的な識能を有し、
知徳体を兼ね備えた伸展性ある陸上自衛官として
ふさわしい人材を育成する。



防衛基礎
一般教養
専門知識・技能

自衛官としてのマナー・儀
社会人としてのマナー・儀
任務遂行に必要な強健な身体



GENERAL EDUCATION

一般教育

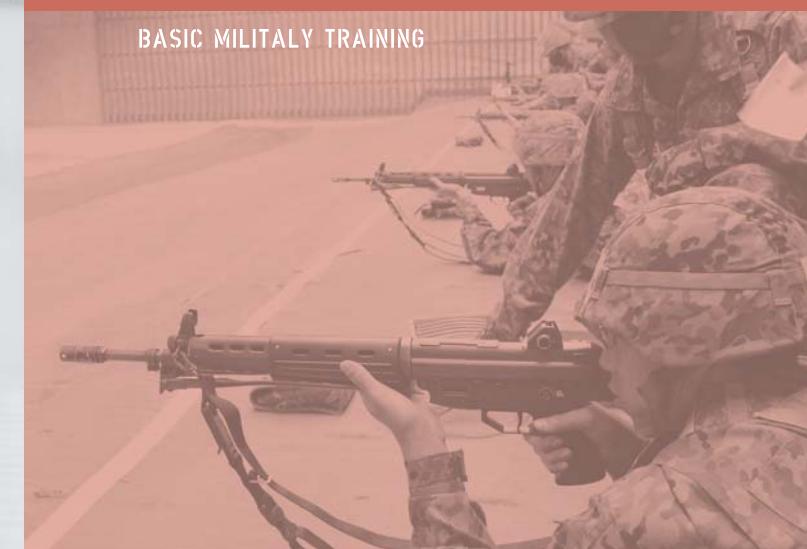
学習指導要領に基づく教育

01

03

防衛基礎学

陸上自衛官に必要な教育



BASIC MILITARY TRAINING



TECHNICAL EDUCATION

専門教育

工業高校に準ずる教育

02

教育体系

本校では、普通科高校と同等の教育を行う「一般教育」、工業高校に準ずる専門的技術の教育を行う「専門教育」、陸上自衛官（陸曹候補者）として必要な防衛教養や各種訓練を行う「防衛基礎学」に加え、クラブ活動（選択課目訓練）や生徒会活動等を行う「特別活動」を4本柱として教育を実施し、将来陸上自衛官として活躍できる基礎を作ります。

04

特別活動

クラブ活動・生徒会活動



SPECIAL ACTIVITIES



01 一般教育

GENERAL EDUCATION

本校では、将来自衛官を目指す生徒に対し、必要な知識・教養等を習得させるため、高等学校普通科と同等の教育を行います。3学年修了時には提携校である神奈川県立横浜修悠館高等学校（通信制）の卒業資格が得られます。

POINT

- 高等学校普通科と同等の一般教養・学力を養成
- 高校教諭免許を有する防衛教官により教育を実施
- 神奈川県立横浜修悠館高校と提携（生徒は高卒の資格を取得）



1、2学年は、各学年に設定された必修科目を履修しますが、3学年になると、生徒はそれぞれの特性・興味・関心に応じて、「教養専修コース」、「理数専修コース」、「国際専修コース」、「システム・サイバー専修コース」の4つのコースから1つを選択し、必修科目に加え各コースに設定された科目を履修します。

一般教育では高等学校学習指導要領に準拠した教育を行い、高機能化する装備品の整備や運用、情報機器等の活用、国際貢献活動やシステム・サイバー等の様々な分野で、将来の陸上自衛隊において活躍するために必要な知識や教養の素地をつくります。



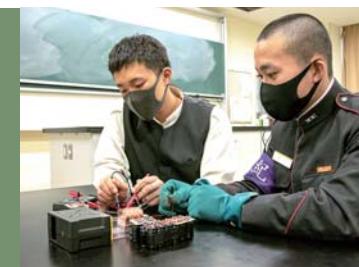
令和3年度から「システム・サイバー専修コース」を新設

コース別教育（3学年）



教養専修コース

2年次までに習得した知識を総合的に活用し、物事に対し主体的に考え、積極的なコミュニケーションを通じて思考を深化させることによって、問題を解決する能力や態度を備えた生徒を育成します。



理数専修コース

数学・物理・化学に関してこれまでに修得した概念や法則を活用することによって、数学的事象や科学的現象を自発的かつ科学的に考察する能力や態度を備えた生徒を育成します。



国際専修コース

国際的な主題について理論的に考察した成果を、英語能力を活用して発表されることによって将来の国際活動に対応し得る積極的なコミュニケーション能力や態度を備えた生徒を育成します。



システム・サイバー専修コース

情報通信技術及び発展的な数学に関する知識を習得させ、将来のシステム・サイバー業務に従事し得る生徒を育成します。

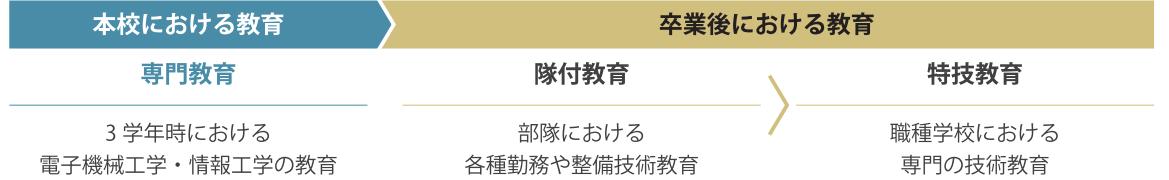
02

専門教育

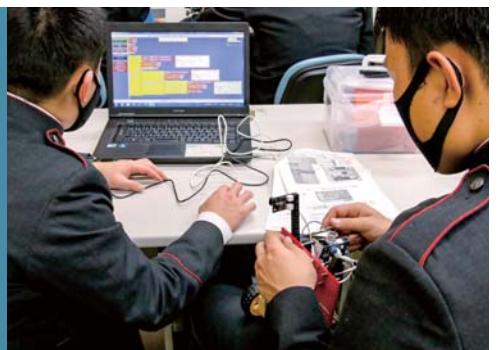
陸上自衛隊では、高機能化・システム化された多くの車両、通信電子機器、火器及び航空機等を装備してあらゆる任務を遂行します。これらの装備品の能力を発揮させるためには、専門的知識や技能が必要とされており、この能力が本校生徒に求められています。このための教育は、本校における教育と卒業後に行われる教育に大別され、本校においては、3学年時に将来の技術的スペシャリストとしての素地を身につけるための教育を実施しています。

POINT

- 初級陸曹としてシステム化された装備品の整備・運用の特技を履修するために必要な基礎的識能を修得
- 専門の特技を有する幹部自衛官により教育を実施(電子機械工学及び情報工学を教育)
- 総合実習の実施
ロボット製作を通じた生徒主体の学習



電子機械工学	電子工学基礎	直流回路、磁気と静電気及び交流回路の基礎的事項
	システム技術	電子回路素子、增幅回路基礎、各種增幅回路及び各種電子回路の基礎的事項
	伝送技術	電気通信及び電波の基礎的事項
	メカトロ技術	機械設計、油圧及びセンサとアクチュエーターの基礎的事項
情報工学	情報基礎	コンピュータ科学、ハード・ソフトウェア技術及びコンピュータ制御の基礎的事項
	ネットワーク基礎	ネットワークの構成及び構築の基礎的事項
	情報セキュリティ	ネットワークの維持運営上必要なセキュリティに関する技術及び関係法規の基礎的事項
総合実習等		専門教育の集大成科目として、自律型ロボットの製作・発表等



電子機械工学

高機能(ハイテク)化された装備品に使われている基本的な技術、特に電気に関する技術の基礎、電気通信・電子回路の基礎、機械技術及び電子機械(メカトロ)に関する基礎的な知識と技術を総合的に学ぶための科目です。

知識を覚えるだけではなく、理解を容易にし、自ら判断する力を身につけるために、事象(結果)から原理(理論)を学ぶ、実証型教育を行います。



情報工学

高機能化された単体の装備品は、システム化され、情報通信機器によってネットワークを構成してその能力を発揮します。

現代社会における必須の電子情報技術、ネットワーク技術及び情報セキュリティ等に関する基礎的な知識と技術を総合的に学び、簡単なネットワークを構成できるようになるための科目です。



総合実習（ロボット製作等を通じての教育）

専門教育の集大成として、ロボット製作を通じて、技術者に必要なセンス(論理的な思考力・創造力、発想を現実化する実現力等)を身につけるための教育を行います。

将来の技術分野におけるエキスパートを目指すための教育です。



03

BASIC MILITARY TRAINING

防衛基礎学

一般教育及び専門教育と並行して行われる陸上自衛官として必要な基礎的事項の教育です。課目は、法令等を学ぶ「服務及び防衛教養」と野外における基礎的な行動を学ぶ「戦闘及び戦技訓練」に大別されます。この他、各学年ごと特色ある競技会を行って体力・気力・チームワークを養い、また職種学校現地訓練等を行って陸上自衛隊に関する理解と知識を深めています。

POINT

- 陸上としての戦闘・戦技の基礎的事項と小部隊指揮官としての指揮動作を習得
- 生徒隊の区隊長等(自衛官)による教育を実施

1学年

自衛官としての意識付け

服務教育や基本教練など

2学年

自衛官意識の涵養

防衛法制の教育、射撃や戦闘訓練など

3学年

自衛官意識の確立

総合的な戦闘訓練や野外勤務訓練など

生徒の自発的な活動を通じて個性の伸長を図るとともに、集団生活の在り方及び自律心を身に付けさせ、人間として、また、自衛官として望ましい態度を養います。また、クラブ活動は活発で神奈川県立横浜修悠館高等学校として高体連や高文連に加盟し、全日制高校または定時制・通信制高校の大会に出場して好成績を収めています。

生徒会活動

生徒自らのリーダーシップ・フォローアシップのもと、各種活動を実践させて、生徒生活の充実を図る。

新入生歓迎行事、開校祭、県人会活動、ボランティア活動

クラブ活動(選択課目訓練)

心身の発達、個性的伸展、知識・技能の向上及び集団内におけるリーダーシップ・フォローアシップの涵養を図る。

特定クラブ、体育クラブ、文化クラブ

特別活動

04

SPECIAL ACTIVITIES

ホームルーム等

区隊長・学級担任等の適切な指導により、学習意欲の振起による学業の充実・健全な生活態度の形成に資する。

区隊長指導、学級担任ホームルーム



05 EVENT

年間行事等

年間を通じてさまざまな訓練・行事が行われます。

知徳体の伸展や同期の絆を育むことができる多彩な行事等があり、学校生活をいっそう豊かにします。



※年間行事等の予定は大きく変更されることがありますので、ご注意ください。

基本的な1日の流れ(平日)

6:00 起床・清掃
6:45 朝食・課業準備
8:15 朝礼・国旗掲揚
8:30 授業(1～4時限)
12:00 昼食・昼休み
13:00
16:15 授業(5～7時限)
17:00 特別活動
18:00 国旗降下
19:00 夕食・入浴
20:00 自主管理時間
21:00 自習時間
22:00 清掃・点呼
22:30 消灯

06 DORMITORY LIFE

一日の生活

生徒は、入校と同時に全員が校内の生徒舎で団体生活を送り、仲間と過ごす中で強い絆や自律心、協調性豊かな感受性を育てます。

休日は、クラブ活動や外出などでリフレッシュします。



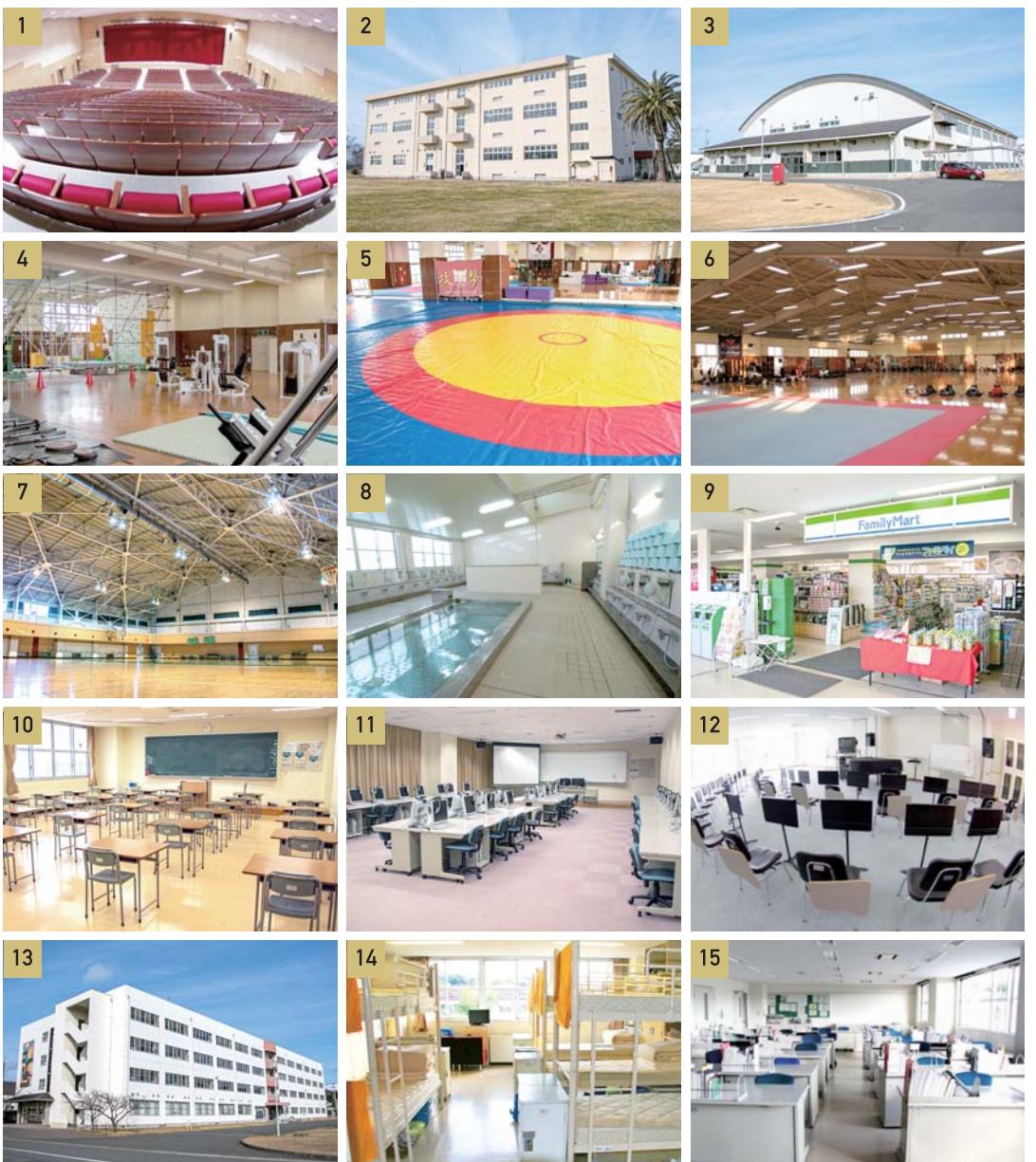


講堂と校風の碑

07 FACILITIES

施設紹介等

- 講堂内部
- 鍊武館外観
- 体育館外観
- 鍊武館内部(1F)
- 鍊武館内部(2F)
- 鍊武館内部(3F)
- 体育館内部
- 浴場内部
- 売店
- 一般教室
- CALL 教室
- 音楽教室
- 生活舍外観
- 居室
- 自習室

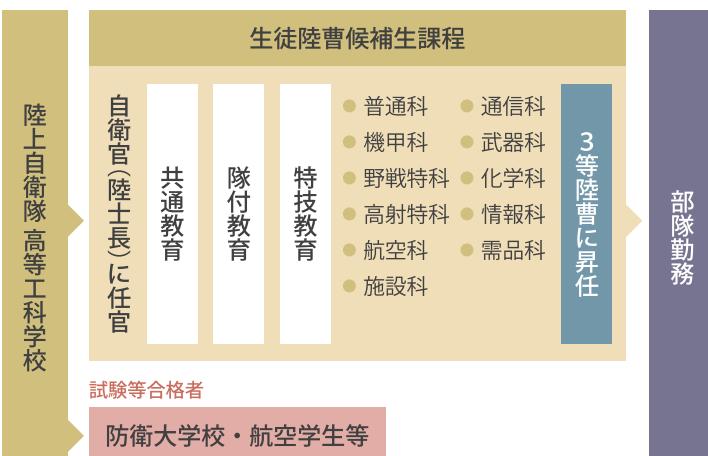


YouTube
高等工科学校ツアー！

08 卒業後の進路

CAREER

本校卒業後、下記の課程を経て全国の各部隊へ配置され活躍しています。また、部隊配置後、受験資格を得て各種選抜試験に合格してあらゆる分野において活躍するほか、通信制・夜間の大学等に進学して教養を高め幹部にチャレンジする卒業生もいます。(※ 在校間に防衛大学校学生、防衛医科大学学生、航空学生(海上・航空要員)の受験は可能です。)



10 在校生・卒業生・保護者からのメッセージ

MESSAGE

在校生

中川 翔馬 生徒
(第66期生／2020年4月入校)



卒業生

瀬戸口 勝也 2等陸尉
(第53期生／2010年3月卒業)



保護者

池田 文乃 さん
(第66期生／池田愛祈生徒の母)



「同期とともに充実した日々」

私は、テレビで自衛隊が災害派遣や海外派遣などで活躍する姿に憧れ、高等工科学校への入校を希望しました。少しでも早く国防の最前線で人の役に立つ事がしたいと考えていました。入校当初は、規則正しい集団生活や職員方、先輩方との上下関係など、たくさんの不安を抱いていました。しかし、職員方や先輩方が、優しく丁寧に指導してくださいました。お陰で毎日が充実していました。また、寝食を共にする同期と切磋琢磨しながら勉強や体力練成などに励むことで、充実した生活を送っています。ここでの生活は楽しいことばかりではなく、時には辛いこともあります。同期と一緒に成長していくことが大切です。

入校希望者の皆さんには、たくさんの不安があるかと思いますが、ここでの経験や同期の存在は必ず自分を成長させてくれるので、高等工科学校に入校してみてはいかがでしょうか。

「生徒出身者としての誇りと自信」

初めて武山(当時少年工科学校)の南門を通過してから早14年が経ちました。当時を振り返ると、同期と助け合うことで厳しいはずの訓練さえも楽しく感じられるような充実した3年間だったと改めて思います。

現在、私は東部方面システム通信群(久里浜)で基地派遣隊長として勤務しています。目標としていた幹部自衛官に任官し、目下強制的陸上自衛隊の創造のために日々奮闘しております。ここまで成長出来たのも、懇切丁寧にご指導くださった職員方や、日々の学習や訓練を共にした同期のおかげと感謝の念に堪えません。

本校卒業後は、不安な中で部隊に配属されました。諸先輩がしっかり面倒を見てくださり、生徒出身者として自信をもって勤務することができました。私も先輩方の背中を追いつき、追いかけてくる後輩たちに立派な背中を見せられるよう、これからも生徒出身者としての誇りと自信を持ち、組織のために頑張る所存です。

この冊子をご覧になって、1人でも多くの方が高等工科学校への入校を決意し、いつか共に勤務できる日を心待ちしております。

「かけがえのない日々を大切に」

2021年はコロナ禍にあり、保護者の入校式参列や体育大会等の参観ができず、息子が帰省できたのは8月の夏季休暇からでした。久々に会うことが出来た息子は高校生とは思えない落ち着きがあり、数ヶ月会わない間に心身共に大きく成長した様子に驚かされました。休暇中は、同期の仲間と互いに声を掛け合い切磋琢磨しながら過ごした日々について沢山話してくれました。決して楽な道ではないにしても、その経験の一つ一つから多くの学び責任感もついたように感じました。息子が帰校した後の部屋では布団が角を揃えて畳まれており、着ていた洋服がきれいに揃えてありました。学校で教えていただいたことが身に付き確実に前進していることを誇りに思っています。これからも、立派な自衛官になるという確かな目標に向かって、仲間達と歩むかけがえのない日々を大切にしてほしいです。親として出来る限りのサポートをし、帰省した時には笑顔で迎えようと思います。

09 沿革

HISTORY

- 1955年 生徒制度(課程)創設
武器学校生徒隊
通信学校生徒隊
施設学校生徒隊
- 1959年 武山集約(生徒教育隊)
- 1961年 4年制通信教育開始
(湘南高校との提携開始)
- 1963年 少年工科学校設立
- 1990年 3年制通信教育開始
- 2008年 横浜修悠館高校新編
(横浜修悠館高校との提携開始)
- 2010年 少年工科学校から高等工科学校へ改編
- 2021年 システム・サイバー専修コース新設